

経 済 部 観 光 課

1 観光振興対策

(1) 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光と特産品の振興を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

ア 観光客誘致宣伝事業

(ア) 米子市皆生温泉観光宣伝隊の派遣

期 日 10月7日・8日

派遣先及び内容 山口県内7信用金庫、下関市役所、山口市役所を訪問し、皆生温泉への送客を依頼した。

期 日 4月27日・28日 8月19日・20日 12月10・11日

派遣先及び内容 関西地区の旅行業者を訪問し、皆生温泉、大山、境港、お笑いバスなどをPRした。

(イ) 吉本興業タイアップ事業

a 観光つき皆生温泉宿泊「お笑いバス皆生温泉号」の運行

今年度は 京都 ～ 大阪 ～ 皆生温泉

期 日 2月6日～3月22日の(金)・(土)・(日) 参加者120人

b 大助・花子の健康ウォーキング大会の実施

期 日 10月4日 参加者1,104人(山陰両県以外662人)

(ウ) 関西地区特別宣伝事業

JRA阪神競馬場内において、米子ステーキス開催にあわせて中海ふるさと物産振興会、とっとり花回廊と共同で観光宣伝と物産コーナーを開設。

期 日 7月5日・6日

イ 情報発信事業

(ア) 報道機関等を利用した観光宣伝

a テレビ・ラジオ番組に出演し、皆生温泉や各種イベント、特産品等の紹介を行った。

b 雑誌・新聞の取材に対応した。

(イ) 旅行業者発行パンフレットへの情報掲載

JTBエース「皆生温泉」「山陰」「冬の味覚山陰」「かにかに山陰」「鳥取・島根」

「山陰山陽四国」

日本旅行赤い風船「皆生温泉」

(ウ) ホームページによる情報発信

ホームページ「よなごがいーな」において、「皆生温泉」「旬の情報」「観光コース」等を紹介した。

ウ 各種イベントの開催

観光客誘致と地域活性化を図るため、イベントの実施又は開催協力を行った。

(ア) 米子桜まつりを開催 期 間 4月4日～ 4月13日

加茂川・中海「さくら船」の運航 乗船数 91人

- | | | |
|-------------------|-----|--------------|
| (イ) 皆生温泉海水浴場を開設 | 期 間 | 7月12日～ 8月24日 |
| (ウ) 全日本トリアスロン皆生大会 | 期 日 | 7月20日 |
| (エ) 市民大茶会 | 期 日 | 10月19日 |

エ 観光商品造成事業

- (ア) 鳥取県観光連盟西部ワーキンググループ事業「神話の地で再生」商品造成への取組み

a 旅行者による「再生神話の旅」の造成

首都圏	クラブツーリズム	7月29日・30日	参加者28人
関西圏	日本旅行ジパングクラブ	11月4日・5日	参加者14人
	アミイファクト	3月21日・22日	参加者33人
山 陰	日本旅行センター	10月26日	参加者20人

b 再生神話ガイドの研修会を開催

8月29日・9月9日(2回) 参加者25人

- (イ) 湯～らんバスの共同運行

運行期間 9月～11月の間 利用者586名

- (ウ) 大人達の社会見学コースの充実及び旅行商品への取組み

見学場所 航空自衛隊美保基地、王子製紙米子工場、JR後藤車両所、米子市水道局、
サントリー天然水(株)奥大山ブナの森工場・大山ヒルズ

商品化件数 61件 見学者数 1,900人(うち宿泊者数723人)

- (エ) 加茂川・中海遊覧船と下町観光案内セット商品の造成 利用者72人

- (オ) ライフセーバーと歩くビーチウォークガイド(皆生海岸) 利用者74人

オ 地域活性化対策事業

- (ア) 米子下町観光ガイド

ガイド依頼 105件 690人

- (イ) 米子城跡を観光拠点への取組み

環境美化活動の実施 8月30日 参加者 180人

カ 指導育成・研修事業

- (ア) 優良従業員の表彰

期 日 5月14日 20年表彰 9人 ・10年表彰 32人

- (イ) 観光協会員従業員研修

期 日 11月20日 参加者 18人

- (ウ) 米子下町観光ガイドの研修

期 日 9月14日 参加者 9人

内 容 大和郡山市の観光ガイドとの意見交換会

キ 中海4市観光協会会議に関する事業(米子・境港・安来・松江)

- (ア) GW対策 中海周辺観光情報マップ作成 10,000部 主に4市観光案内所で配布

- (イ) 西日本旅客鉄道㈱と協力し「なかうみキャンペーン」の実施 10月1日～11月30日

- (ウ) 大根島ぼたん祭に物産販売ブースを開設 4月6日～5月5日

- (エ) 第7回松江暖談食フェスタ「暖談ごちそう市場」に物産販売ブースを開設 2月1日

ク 米子市観光協会首都圏観光大使の任命

首都圏での観光宣伝及び誘客対策の一つとして、米子出身で首都圏在住の33人に対し「よなご観光大使」

を任命した。

(ア) 任命式 期 日 6月14日 会 場 ANAインターコンチネンタルホテル東京

(イ) 首都圏観光大使の集い「皆生温泉観光の夕べ」を開催

期 日 9月7日 会 場 皆生温泉

(ウ) 観光大使が地元物産を取扱う会社「やらい屋」を立ち上げ、地元物産の販売、米子に向けての旅を紹介

(2) 観光案内業務

米子駅構内に米子市観光案内所を設置し、観光案内業務を行った。

◇年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
1, 135件	6, 759件	4, 357件	1, 787件	1, 931件	15, 969件

(3) コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件 数	参加者数	延宿泊者数	交 付 額
			(米子市負担額)
26件	12, 938人	11, 210人	13, 510千円 (6, 755千円)

(4) 日本観光協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

(5) 特産品、観光土産品振興対策

特産品パンフレット「米子ええもん噺」の作製及び配布に協力し特産品の販路拡大を図った。

(6) 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

(7) 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。

(8) 温泉地にぎわい創出事業

ア 観光宣伝事業の推進

米子市観光協会等と連携し、首都圏、中京、京阪神、山陽方面での観光宣伝事業を行った。

イ 健康保養温泉地づくり事業の推進

皆生温泉を健康保養温泉地として全国に売り出すため、JTB旅館ホテル連盟の事業を活用し18年度から取組んでいる「皆生温泉ホットソルトスプリング・ウェルネス事業」の最終年度となり、旅行商品として販売をスタートさせた。

商品名 スリミングステイ ～3%美しくなる旅～

ウ 緑と花いっぱい運動

とっとり花回廊の協力を得て、米子市観光センター周辺花壇の植栽を継続した。

エ 歴史・文化の創造

観光センター内に開設した「皆生温泉素鳳ふるさと館」で山陰歴史館所蔵の古代雛の常設展示や地元
の工芸作家などの作品の企画展示を行い、皆生温泉の新しい観光スポットとして活用した。

平成20年度入館者数 3,585人

オ ちびっ子広場の実施

夏休み期間中、海水浴場特設会場で、毎夜、ちびっ子向けイベント広場を開催し、ミニ花火大会、大
抽選会などを実施した。

開催期間 7月25日～8月24日 毎日午後8時～9時 参加人数 8,076人

(9) 広域観光の推進

ア 国立公園「大山」を望む8市町村で「大山山麓観光推進協議会」を設置し、広域的な観光振興策を推進
するため、大山山麓エリアにおける優良な周遊滞在型観光地の形成を図ることを目的に、官民連携して各
種事業を実施した。

構成市町村 米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、琴浦町

実施事業

- ・「大山王国」ホームページの維持管理
- ・「大山王国」建国イベント及び各種音楽コンサートの支援
- ・地元で開催される各種イベントへの積極的参加
- ・2ヶ月毎にイベントカレンダーを作成して観光施設等に配布
- ・大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会に参画し、各種プログラムメニューの開発に協力した。
- ・大山パークウェイ構想の支援

イ 「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」

中海・宍道湖・大山圏域の観光振興を推進するため、鳥取県と島根県の行政、経済団体、観光協会及びN
PO等が連携、協働して圏域全体の事業を実施した。

平成17年から、圏域の行政、経済団体、観光協会、NPO法人及び民間企業などが県境を越えた連携の
必要性を認識し、4委員会で活動している。

(ア) 圏域観光MAPの作成・配付、既存の情報の集約・統一化のための圏域観光ポータルサイトの運営

- ・20年4月「山陰遊悠絵図」発行

(イ) 中海・宍道湖を活用した水上遊覧の実施

- ・20年8月2日～10月26日 土曜、日曜の運航（松江～境港）

(ウ) 温泉地・美術館のネットワーク化による滞留型観光の実現

(エ) 観光ルートの設定及び体験型観光メニューの発掘

ウ 「山陰文化観光圏」の認定

国において、観光立国の実現に向けて、複数の観光地が連携して2泊3日以上の上泊滞在型観光を目指す「観
光圏」の形成を促進することになり、大田～隠岐～日野～倉吉にわたるエリアで観光圏に取組み関係する
区市町村及び団体で「山陰文化観光圏協議会」を組織し、観光圏整備実施計画が認定を受けた。

事業実施期間 平成25年3月31日まで

エ 大山・中海圏域のエコツーリズムの推進

当地域の持ち味を活かした「新たな観光魅力づくり」と、環境保全と経済活動を両立させた「持続可能
な観光地づくり」を実現するため、平成19年から取組んでいる「エコツーリズム」について、皆生温泉
と大山寺にツアーデスクを設置し、「ブナの森の古道散策」や「皆生海岸海上散策カヤック」等のツアー
案内や受付を行った。

また、この取組みに対し、環境省第4回「エコツーリズム大賞」特別賞を、全国旅館生活衛生同業組合連合会青年部第19回大会褒章において、皆生温泉旅館組合青年部が「皆生海岸シーカヤック体験&エコツーリズム推進事業」で青年部長賞を受賞した。

(10) 映画撮影への協力

米子市内や淀江町を主な舞台として、11月17日～12月18日にかけて映画「銀色の雨」の撮影が行われた。旧米子市給食センターへ室内シーン撮影用にセットが組まれる本格的な撮影となり、その準備段階から全面的に協力した。作品は平成21年秋に全国で公開予定。

2 観光資源の開発

(1) 観光施設の整備及び管理

ア 財団法人中海水鳥国際交流基金財団の自主事業運営支援業務

(ア) 県と協調して設立した財団法人中海水鳥国際交流基金財団の行う次の事業に関して積極的に支援した。

a 国際交流に関する事業

○国際交流学会等の開催、招聘に向けた情報収集活動

- ・日韓湿地管理センター・シンポジウムにパネラーとして職員が出席

期日 4月21日 場所 韓国

- ・「KODOMOラムサール国際湿地交流inにいがた」へ子ども3人を派遣

期間 8月20日～23日 場所 新潟市

- ・「KODOMOラムサールin Korea」へ子ども3人を派遣

期間 10月25日～30日 場所 韓国・慶尚南道昌原市

- ・「豊岡KODOMOラムサール」へ子ども8人を派遣

期間 2月21日・22日 場所 兵庫県豊岡市

b 野生鳥類等の調査研究に関する事業

○野生鳥類等に関する知識及び技術取得活動

- ・日本鳥学会（立教大学） 開催日 9月12日～15日

- ・環境省モニタリングサイト1000の国際連携に関する会議 開催日 1月31日

○米子水鳥公園に飛来する鳥類のモニタリング調査

- ・全種全量調査の実施（毎週土曜日）
- ・全種全量調査データのデータベース化

○米子水鳥公園の自然環境調査

- ・昆虫類の採集及び標本制作・保存
- ・水鳥と水草の相互作用についての研究
- ・生物の写真撮影及び写真の保存・管理・DVD化
- ・剥製標本の整理・保管

○標識調査による渡り鳥の調査

- ・標識調査による小鳥類の渡り調査
- ・続島・萱島のカワウの移動・分散調査

○コハクチョウの分布調査

- ・中海周辺の分布調査
- ・首輪標識による移動調査

c 自然環境等の普及啓発に関する事業

- ・米子水鳥公園自然観察会の開催（年間12企画12回開催：延べ266人）
- ・手作り自然教室の開催（年間9回開催：延べ487人）
- ・子どもラムサールクラブの開催（年間12回開催：延べ310人）
- ・夏休み企画（4企画：延べ参加者667人）
 - フリー企画「ダンゴムシレース大会2008」
 - おもしろ講座（全4回）
 - 親子ふれあい講座「小鳥の巣箱を作ろう！」（2回）
 - 夏休み子ども自然講座（3日連続） 期間 8月1日～3日
- ・コハクチョウ初飛来日当てクイズ2008（応募総数310人）
- ・彦名、水鳥公園ふれあいウォーキング大会（11月9日：参加者311人）
- ・バードカービング教室の共催（毎月3回開催：延べ370人）
- ・講師派遣（年間24件）及び研修の受け入れ

d ボランティア活動

- ・野鳥解説等の館内ボランティア・イベントサポート（水鳥公園友の会：延べ414人）
- ・企業、団体、学校等によるボランティア活動（延べ1,342人）

e 展示

- ・スロープ展示 フェザーカービング展 期間 11月1日～1月9日
水鳥の絵と作文コンクール作品展 期間 2月1日～28日
水鳥公園の生き物展
- ・展示室 常設展（剥製標本、バードカービング、解説パネル）

イ 米子水鳥公園の施設管理運営業務

(ア) 米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンターの施設管理については、平成18年度より施設を適切に管理するため指定管理者制度を導入している。

市民と自然とのふれあいの場及び市民の環境学習の場の提供を目的として平成7年10月22日から供用開始。財団法人中海水鳥国際交流基金財団に施設の管理運営業務を委託し、利用者の応接に関する業務を行うとともに、財団の本来業務の普及啓発事業の一つである一般市民を対象とした自然観察会や自然教室、夏休みを利用した子供講座などの各種事業を実施するほか、水鳥の絵と作文コンクールなどの事業を実施して観光客及び市民の幅広い利用を図った。

また、平成17年3月から中学生以下の入館料を無料とし、環境保護活動や自然教育の場として活用しやすい施設としている。平成17年11月には水鳥公園を含む中海、宍道湖がラムサール条約の登録湿地に指定されたことにより、登録湿地の拠点施設として環境保護活動にさらに力を入れている。

(イ) 米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター施設管理委託先

指定管理者 財団法人中海水鳥国際交流基金財団

指定管理料 33,680,000円

(ネイチャーセンター入館者実績)

(人)

(ウ) 財団法人中海水鳥国際交流基金財団と共催して鳥に関するコンクール事業を実施した。

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
人 員	858	1,149	832	1,089	992	1,266	
月 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
人 員	1,671	3,670	2,290	2,260	2,179	1,685	19,941

○第13回米子水鳥公園絵画コンクール及び作品展

- ・応募期間 12月20日～1月21日
- ・応募数 142点
- ・展示期間 2月1日～28日
- ・展示場所 米子水鳥公園ネイチャーセンター内スロープ壁面

(エ) 米子水鳥公園内の水質検査を実施した。

- ・調査項目 全窒素、容存酸素等9項目
- ・調査回数 年3回
- ・調査箇所 つばさ池ほか3地点

ウ 米子市観光センターの管理運営業務

(ア) 山陰観光の拠点として、昭和58年4月15日から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館の斡旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

[年間利用状況（テナント、広告看板、バス停利用を除く）]

区分	観光案内	多目的ホール	会議室	料理 研修室	和室	第1展示 ホール	第2展示 ホール	部屋利用 合計
件数	9,661件	387件	702件	27件	141件	0件	365件	1,622件
人員	27,650人	11,020人	7,500人	290人	1,130人	0人	2,880人	22,820人

- (イ) 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合
指定管理委託料 1,770,650円

オ 米子市淀江温浴施設管理業務

白鳳の里の隣接地に米子市淀江温浴施設（淀江ゆめ温泉）が平成12年8月4日開館。源泉を所有する株式会社白鳳に施設の管理運営を委託している。平成18年度より指定管理者制度を導入している。入浴料の他、株式会社白鳳の自主事業の努力により収支は安定しており、米子市より指定管理料は支出していない。

- ・年間入湯客数 128,054人

カ 米子市伯耆古代の丘公園管理業務

(ア) 淀江町の向山古墳群に隣接した場所に観光施設の拠点として平成7年4月22日開園。平成18年度より施設管理を適正に行うため指定管理制度を導入し、株式会社白鳳に施設の管理運営業務を委託している。

施設利用者の応接に関する業務を行うとともに、古代ハスや四季折々の花の育成展示、市民や児童向けに押し花、勾玉の作成、火おこし体験、埴輪の作成など古代の生活様式を体験することにより、より多くの市民、観光客に親しまれるよう各種の自主事業を実施している。

- (イ) 米子市伯耆古代の丘公園指定管理委託先 株式会社白鳳
指定管理委託料 19,000,000円

(米子市伯耆古代の丘公園入園者実績)

(人)

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
人 員	5 6 6	1,5 2 1	8 3 7	2,1 9 8	1,9 4 0	1,0 4 0	
月 別	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計
人 員	1,6 3 1	1,0 0 0	2 1 0	1 4 7	2 4 5	5 2 1	1 1,8 5 6

キ 米子コンベンションセンター管理運營業務

(ア) 米子コンベンションセンター（米子国際会議場を含む）を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

(イ) 米子国際会議場指定管理委託先 (財)とっとりコンベンションビューロー
指定管理委託料 99,500,000円

[米子国際会議場利用状況]

催し 物件数	集 会			展 示 会	音 楽 ・ 芸 能	そ の 他	計
	大 会 式 典	講 演 会 説 明 会	会 議	展 示 会 見 本 市	3	1 1	1 0 4
	1 9	5 5	5	1 1			

利用日数 193日 稼働率 56.9%

(2) 金融対策

ア 米子市観光開発促進資金

市内において観光開発促進事業を行おうとする法人が必要とする資金の確保に協力し、本市の観光振興を図ることを目的として、県及び金融機関の協調を得て融資した。

・ 融資実績

区 分	融 資 件 数	融 資 額	米子市預託額
継 続 分	1 件	1 2 9, 1 9 5, 0 0 0 円	2 0, 8 3 7, 0 0 0 円